

秋田県立大館桂桜高等学校 “S”クラブ

(SI大館)

認証おめでとうございます！ (“S”クラブ認証式 2017/7/27)

北鹿新聞

2017年(平成29年)7月28日(金曜日)



44人で北鹿で初、認証式

大館桂桜校(本村夫校長)で三つの部・クラブの生徒で構成するボランティア団体「Sクラブ」が認証された。支援協力する国際ソロプチミストによ、県内では最初の発祥、北鹿は初、27日に学校で認証式と生徒の活動報告が行われた。

ソロプチミスト 大館が支援 ボランティア活動推進

桂桜高に「Sクラブ」



会員の認証を受け発足したSクラブ(桂桜高)

クラブは学校と地域社会への貢献を目指す団体で、生徒らが所属校を基盤に活動を展開する。名称はService(奉仕、Service)学校(Society)社名、の頭文字からつづいたもの。北海東北地域のソロプチミストで組織する国際ソロプチミスト管内では90番、県内では5月に大曲農業高で発足して以来、桂桜では77年度までの旧3校時代から社員献助活動を続けていた。本村校長らが以前、勤務校で認証に携わった経緯もあり、ソロプチミスト大館(佐藤恭子校長)が発足を働きかけた。クラブは、東日本大震災の被災者との交流などを展開する「工作部」を設け、引き継ぎ委員会が開かれ、工作部を家庭クラブが前年度の活動報告をまとめた。今後は単位団体の活動も継続するほか、クラブとして合同の奉仕活動やソロプチミストの活動支援を計画している。

クラブ、校内を中心に奉仕活動に取り組み、RC部の計44人で構成。

式典は関係者ら約70人が出席。佐藤会長は「若い人が誰かの役に立たないという精神で、地域社会や身の回りで奉仕活動に取り組み、居心地のいい夢を育む学校にしてほしい」とあいさつ。

北リジョンからクラブが認証されたのは、生徒にパスが手渡された。会員として認められた。会に就任した家庭科の頭文字からつづいたもの。北海東北地域のソロプチミストで組織する国際ソロプチミスト管内では90番、県内では5月に大曲農業高で発足して以来、桂桜では77年度までの旧3校時代から社員献助活動を続けていた。本村校長らが以前、勤務校で認証に携わった経緯もあり、ソロプチミスト大館(佐藤恭子校長)が発足を働きかけた。クラブは、東日本大震災の被災者との交流などを展開する「工作部」を設け、引き継ぎ委員会が開かれ、工作部を家庭クラブが前年度の活動報告をまとめた。今後は単位団体の活動も継続するほか、クラブとして合同の奉仕活動やソロプチミストの活動支援を計画している。

長年の夢であった“S”クラブが、秋田県立大館桂桜高等学校を母体に誕生しました。2017年7月27日(木)大講義室において、スポンサーシップ委員長鈴木氏並びにスポンサーシップ委員博多氏のきめ細やかで丁寧なご指導を受けました。お陰様で厳粛にして且つ凛とした雰囲気の中で滞りなく認証式を終える事が出来ました。茶話会ではこれまでの活動報告があり、その活動の濃さに感動しました。これから澁刺とした44名の生徒たちを側面から支え、コミュニケーションをはかりながら見守って行きたいと思えます。

まだまだ手探りですので色々ご教示いただければ幸いです。

遅ればせながら日本北リジョンの各クラブの皆様のご支援に感謝申し上げます。



「“S”クラブ入会式・茶話会」 (2017/7/26)

於:田村市船引町商工会館



2017年7月26日、田村市船引町商工会館に於いて「“S”クラブ入会式&茶話会」開催、9名の新入会員の入会式を無事終了し、26名のクラブとなりました。

茶話会には、“S”クラブ担当の先生と22名の会員、そして、私達、石橋会長はじめ8名の会員が参加、



参加、昼食後、全員で自己紹介と将来の夢を話し、一日の感想を”S”クラブ会員に書いてもらいました。感想には、女子高校生らしく、お弁当、ケーキ、豚汁 etc. が美味しかった。というのもありました。みんなの夢が聞けて良かったという意見もありましたが、大部分は、“S”クラブの一員として地域に貢献していきたいという感想でした。S”クラブの会員としての自覚と地域に貢献する奉仕の心が感じられました。